

環境調査結果のお知らせ

平成28年5月19日午前9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温21～23℃、塩分20～33、溶存酸素量7～10mg/lでした。

透明度は2～4mで、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデス、カレニア・ミキモトイ、シャットネラ属、ミリオネクタ・ルブラが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温20.9～23.0℃、塩分20.2～33.1でした。

前回調査時(H28.4.7)と比較して、水温は全層で4.1～4.9℃上昇しました。塩分は全層で0.2～0.4増加しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.3～9.5mg/lでした。

プランクトン(表4・5)

透明度は2.1～4.2mでした。

検鏡の結果、魚類に非常に有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で16cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で3cells/ml、シャットネラ属が最高で1cells/ml、二枚貝類を着色させるミリオネクタ・ルブラが最高で74cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

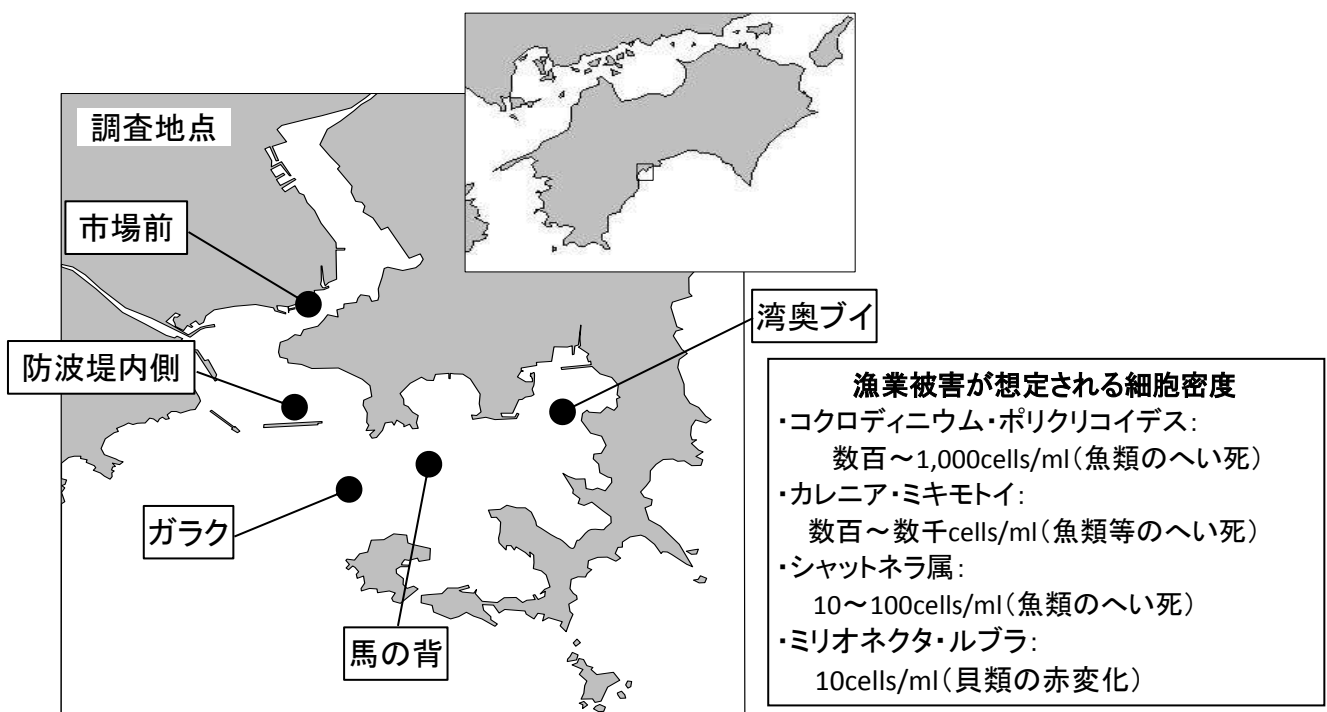


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.4.7)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	22.6	23.0	22.7	21.3	22.8	17.9	4.9	22.0
2m	22.6	22.2	22.0	22.1	22.3	17.7	4.6	21.9
5m	21.8	21.3	21.3	21.6	21.5	17.2	4.3	21.4
10m	21.4	21.3	21.3	21.4	21.3	17.0	4.3	-
B-1m	21.2	20.9	21.1	21.0	21.1	17.0	4.1	21.3

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.4.7)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	31.0	31.1	31.2	20.2	31.1	30.8	0.3	17.1
2m	31.5	31.9	32.0	31.0	31.8	31.5	0.3	30.4
5m	32.4	32.6	32.7	32.3	32.6	32.2	0.4	32.2
10m	32.8	32.8	32.8	32.2	32.8	32.6	0.2	-
B-1m	32.9	33.1	33.0	33.0	33.0	32.7	0.3	31.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.4.7)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.9	8.8	8.5	9.5	8.7	-		9.0
2m	8.4	8.0	7.7	8.8	8.1	-		9.0
5m	7.5	7.4	7.3	7.6	7.4	-		7.9
10m						-		
B-1m						-		

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.5	24.3	14.9	15.7	11.7
透明度	3.5	3.5	4.2	2.1	2.0
前回(4/7)	5.0	5.5	5.0	4.0	2.5

表5 プラクトン(cells/ml)

		クロロディニウム・ポリクリコイデス	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ミリオネクター・ルブラ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	1	1	6,700
	2m	0	0	0	2	8,800
	5m	16	0	0	3	2,100
馬の背	0m	0	1	0	2	5,500
	2m	0	0	0	2	5,900
	5m	2	1	0	0	1,800
ガラク	0m	0	1	0	2	6,300
	2m	0	0	0	1	4,600
	5m	0	2	0	0	2,800
津波防波堤内側	0m	0	1	1	2	13,900
	2m	0	1	0	3	9,400
	5m	16	0	0	2	3,000
市場前	0m	0	0	0	74	5,300
	2m	0	1	0	15	8,600
	5m	0	3	0	0	1,300